

PRESS INFORMATION

ニュースリリース PGJ18-004

メディア関係者 各位

2018 年 3 月 16 日

ピアッジオグループジャパン株式会社

モト・グッツィ V7Ⅲの特別限定モデル**V7ⅢCarbon V7ⅢMilano 新登場**

ピアッジオグループジャパン(本社:東京都港区芝二丁目、代表取締役:ネリ・ミクラウス)は、ご好評いただいておりますモト・グッツィの最新モデル Moto Guzzi V7Ⅲシリーズに、2つの特別限定モデル V7Ⅲ Carbon【ブイセブン・スリー・カーボン】(メーカー希望小売価格 1,198,000 円消費税込)と、V7ⅢMilano【ブイセブン・スリー・ミラノ】(メーカー希望小売価格 1,148,000 円消費税込)を導入し、日本国内仕様を発表します。4 月 1 日より全国のモト・グッツィ正規販売店を通じて先行受注を開始し、V7ⅢCarbon は 5 月より、V7ⅢMilano は 8 月より納車を開始します。

また、当モデルは 2018 年 3 月 23 日(金)に開幕する「第 45 回 東京モーターサイクルショー」ピアッジオグループジャパンプース(西1ホール)にて展示いたします。

【国内導入モデル概要】

◆ **モト・グッツィ V7Ⅲ Carbon (カーボン)**
(※世界 1921 台限定生産、日本導入 30 台限定)

メーカー希望小売価格 1,198,000 円(税込)

カラー : ブラック

受注開始 : 2018 年 4 月 1 日

出荷開始 : 2018 年 4 月下旬



◆ **モト・グッツィ V7Ⅲ Milano (ミラノ)**
(日本導入 60 台限定)

メーカー希望小売価格 1,148,000 円(税込)

カラー : ブラック

受注開始 : 2018 年 4 月 1 日

出荷開始 : 2018 年 7 月下旬

PRESS INFORMATION

■ V7 III Carbon の概要

V7 III Carbon は、モト・グッツィのキャラクターをさらに引き立てる、シリアルナンバー入り限定生産モデルです。短く洗練された前後のフェンダーやサイドカバーにカーボンファイバーを贅沢に使用。価値ある近代的なクオリティを、オリジナリティあふれる味わい深い V7 カスタムスタイルに仕上げました。V7 III Carbon は、深紅の Brembo 製フロントディスクブレーキキャリパーやサイドカバーロゴ、燃料タンクのイーグルマークのアクセントカラーが際立つ、マットブラックの外観を採用しています。「マンデッロ生まれ」のエンジンも、サテン仕上げの赤いシリンダーヘッドカバーが視線を集めます。耐候性に優れ、新しい撥水型 アルカンターラ® を採用した専用シートには、赤いステッチを施し洗練されたデザインに仕上げられています。さらにこのモデルは、ブラックアルマイト仕上げのアルミ削り出しタンクキャップ、ブラック仕上げのヘッドライトフレームとインジェクターカバーがこの限定車の個性を引き立てます。ハンドルバーライザー上のプレートには、シリアルナンバーと共に生産台数である 1,921 という数字が刻まれています。これはモト・グッツィが設立された年にちなんでいます。



PRESS INFORMATION

■ V7 III Milano の概要

都市のメイン通りを駆け抜けるとき、どの V7 で走りたいと思いますか？ モト・グッツィはその問いに対して V7 III Milano という新たな答えを用意しました。このモデルは V7 III Special (日本未導入) をベースに、光沢のあるタンクカラーやタコメーターを装備したデュアルメーター、クローム仕上げのエグゾーストシステムとパッセンジャーグラブハンドルなどで伝統的でクラシックな雰囲気を保ちながら、より近代的なイメージを与えるキャストホイールによってオリジナリティを打ち出しています。アルミ製の前後フェンダーやサイドカバーといった定番とも言える高品質なパーツ類も標準装備されています。



■ V7シリーズ概要

V7 はモト・グッツィのラインアップの中でも最も基幹となるモデルです。1967 年にイタリアで最初に発売されて以来、V7 はラインアップの中核となり、イタリアンモーターサイクルの代表格へと成長。傑出した性能とデザインで、幅広いユーザー層から高い人気を集めています。モト・グッツィはそれから 50 年の節目となる昨年 2017 年に第三世代となる V7 III を導入しました。V7 は 2009 年以来、モト・グッツィの最量販であり、モト・グッツィへのエントリーモデルの役割を担い、男女を問わず若い世代にも所有することを誇りに思わせる、マンデッロ・デル・ラリオで生産される、モーターサイクルを象徴する 1 台です。

PRESS INFORMATION

初代 V7 に対して V7 II がそうであったように、V7 III の改良にはローマ数字がひとつ増えることに相応しい価値を十分に考慮しました。それは、高い人気でロングセラーを続けたモト・グッツィのル・マンやカリフォルニアを常に意識しました。V7 III は、ベストセラーを続ける可能性と能力があり、時代を超えて愛されるために欠かすことのできない 2 つの価値、**変わることをないキャラクターと真正性を維持しています。**

新しいエンジンを採用した V7 III シリーズは、最高出力が 10% 向上しましたが、単なるパフォーマンスの向上は V7 の改良の主目的ではありませんでした。マンデッロから送り出される第三世代の「750」は、カテゴリーの中でもサイズと重量が抑えられて乗りやすい、モト・グッツィのエントリーモデルであり続けます。それと同時に、他に類を見ない縦置き V ツインエンジンによって引き立てられる、モト・グッツィ特有のキャラクターを備えています。スチール製フレームは、**フロント部分が完全に改良、強化され、コーナーにおけるダイナミックな走り、より良いハンドリングと安定性を発揮する新しいステアリングジオメトリーを実現。**現代のライダーのライディングニーズを満たします。最高出力は 52HP/6200rpm まで引き上げられました。最大トルクは 60Nm/4900rpm を発揮し、モト・グッツィのエンジンらしいキャラクターと俊敏なレスポンスに扱いやすさを融合させた、極めてフラットなトルクカーブを持ちます。

V7 III は、**ABS システムと、無効にもできる新しい調整式 MGCT (モト・グッツィ・トラクション・コントロール) システム**を装備しています。前者は急ブレーキング時にホイールロックを防ぐ 2 チャンネルの Continental 製システムで、後者は加速時にリアホイールのスピンを防ぐシステムです。**新しい MGCT システムは、感度レベルを 2 段階に調整可能です。**ひとつは、濡れているあるいは滑りやすいアスファルトのようなグリップの低い状態で、控えめかつ理想的に作動するように。もうひとつはドライ路面で安全にスリリングな走りを楽しめるように設定されています。MGCT システムのもうひとつの特徴は、トラクションコントロールシステムが常に正確に作動するよう、タイヤの摩耗や純正とは異なるプロファイルのタイヤの使用による、リアタイヤの外周長の変化を補正することです。

PRESS INFORMATION

■モト・グッツィ V7ⅢCarbon・V7ⅢMilano 主要諸元

エンジン	4 ストローク 空冷 90° V 型 2 気筒 OHV 2 バルブ
総排気量	744cc
ボア × ストローク	80 mm × 74 mm
最大出力	38 kW (52 HP) / 6,200 rpm
最大トルク	60 Nm / 4,900 rpm
燃料供給方式	マレリ製電子制御燃料噴射システム
始動方式	セルフ式
トランスミッション	6 速リターン
クラッチ	乾式単板
フレーム	高張力鋼管モジュラーダブルクレードル
フロント サスペンション	Φ 40 mm 油圧式テレスコピックフォーク 130mmトラベル
リア サスペンション	油圧式ツインショックアブソーバー スプリングプリロードアジャスタブル 93mmトラベル
フロントブレーキ	320 mmステンレスシングルディスク ブレンボ製異径対向 4 ピストンキャリパー
リアブレーキ	260 mmステンレスディスク フローティング 2 ピストンキャリパー
フロントホイール	2.5 x 18 アルミダイキャスト
リアホイール	3.5 x 17 アルミダイキャスト
フロントタイヤ	100/80-18"
リアタイヤ	130/80-17"
全長/全幅/全高	2,185 mm/ 800 mm/ 1,100 mm
シート高	770 mm
ホイールベース	1,463 mm
燃料タンク容量	21ℓ
車両重量	209kg
セーフティシステム	MGCTトラクションコントロール、ABS
製造国	イタリア

PRESS INFORMATION

◇お客様お問い合わせ先:

ピアaggioコール 03-3453-3903

◇報道関係者お問い合わせ先:

ピアaggioグループジャパン株式会社

〒108-0073 東京都港区芝 2-12-10 タカナミビル1F

○ PR マーケティング: 河野 僚太 (こうのりょうた)

E-Mail press@piaggio.co.jp

代表電話 03-3454-8880 FAX 03-3454-8868